

2. 単位修得について

〔1〕単位修得方法

- ①授業科目の単位の修得は、筆記試験およびレポート他、本学において実施する試験に合格しなければなりません。
- ②科目によっては、各種検定試験あるいは平常点により単位認定が行われる場合があります。
- ③所定の期間在学しても、履修上の不備や出席日数の不足などにより、単位数が不足している場合は、卒業が認定されず留年となります。なお、「単位数が不足している」状態とは、総単位数が不足していることだけではなく、科目群ごとの最低取得単位数が不足している場合や必修科目が不合格である場合も含まれますので、注意して下さい。

〔2〕学業成績評価

各教科の学業成績は、学期末の試験（筆記・レポート（論文・作品）・実技・実験・実習等）の成績、平素の学習状況（出席、遅刻など）等を総合して、授業担当教員が評価します。成績評価は「秀・優・良・可・不可・履修中・認定」をもって表し、可以上を合格、不可を不合格とします。

評価	基準	判定
秀	90点～100点	合格
優	80点～89点	
良	70点～79点	
可	60点～69点	
不可	59点以下	不合格
履修中	履修中の科目	履修中
認定	本学以外の教育施設において修得した単位を認定	合格

〔3〕GPA制度による成績評価について

本学では、2005年度より学業成績評価を5段階評価とすると共に、GPA制度による成績評価を実施しています。

GPAとは、学生の皆さんが自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく真剣な学習に役立てるために、履修した全科目の成績の平均を数値で表したものです。

GPAは、学習の質を評価する成績評価の国際基準となっており、合格した科目だけでなく、不合格や受験不可の科目も成績算出対象となるのが大きな特徴のひとつです。したがって、学生の皆さんは自分の履修（履修登録を含む）に対して、より真剣に取り組むことが求められます。学年ごとに算出されるGPAを期間ごとに比較検討し、今後の学習計画に役立ててください。

①G P及びG P Aの計算方法

- (1) G P :各学年ごとに授業科目の成績を5段階(秀、優、良、可、不可)で評価し、それぞれに対して、以下のG Pを与える。

成績評価	秀	優	良	可	不可
評価	S	A	B	C	D
G P	4.0	3.0	2.0	1.0	0

- (2) G P Aの計算式:

【学年G P A】

$$\frac{4.0 \times S \text{の修得単位数} + 3.0 \times A \text{の修得単位数} + 2.0 \times B \text{の修得単位数} + 1.0 \times C \text{の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数(「D」の単位数を含む)}}$$

【通算G P A】

$$\frac{\text{(各学年に評価を受けた科目で得た取得ポイントの合計)の総和}}{\text{(各学年に評価を受けた科目の単位数の合計)の総和}}$$

注1 取得ポイントとは、「(評価を受けた科目で得たG P) × (その科目の単位数)」である。

注2 G P Aの計算は、小数点第3位を四捨五入するものとする。

②G P A制度導入に伴う注意事項について

- (1) 履修登録変更期間を過ぎての履修登録の取消しや変更は認められませんので、履修登録した科目を途中放棄した場合や未受験であっても評価(不可)を受けた科目として単位数が加算されます。
- (2) G P Aによる成績評価を基にして、本学の奨学金付与者などの選考を行います。
- (3) 極度にG P Aの低い学生には、警告を与え、教員による教育指導を行い、学習の向上の手助けを行います。